(第三種郵便物認可)

大人の発達障害 「働く」という壁

(上)続かない理由

失敗重ね職場で孤立

能力生かす就労支援を

発達障害者支援法の施行から10年。子どもの療育面での課題に目が向けられるようになり、障害についての周知は進んだといえる。だが今、相談機関に届くのは、発達障害と診断された大人からの悩みが多い。訴えるのは「働くことへの壁」だ。乗り越えるために必要なサポートとは何か。就労支援の課題を探った。(標葉知美)

広島市中区に住む男性(38)は「働くことが怖い」と言う。大学を卒業後、清掃員や塾講師など短時間のアルバイトで食いつないできた。仕事場では叱られた記憶しかない。「ホウレンソウ(報告、連絡、相談)が足りない」と上司を怒らせた。自分では一生懸命伝えているつもりなのに、こう非難された。何考えてんだ、ふざけるな―。

34歳で広汎性発達障害と診断された。その後は生活保護を受けて暮らす。「就労移行支援事業所」に登録はしている。一般企業での就労を目指す障害者をサポートする福祉施設で、ソーシャルスキルや事務作業などの訓練を受ける場だ。だが、なかなか前向きになれず月1、2回しか通っていない。

9割は19歳以上

広島市発達障害者支援センターによると、2014年に受けた相談は延べ3169件。うち9割近い2727件が19歳以上の発達障害者やその親たちからだった。多くが就労の悩みで、上司からの相談もあるという。発達障害という言葉が浸透していない時代に育った大人たちである。病院はどこも休みになる。「救急車が病院へ行ってくれてかどうか、分からんけど、消防署へ行ってみんさい」。そう私が言うと、さすがの主人も不安になり、保険証を持って消防署へ行った。

「病院を紹介してもらったから、今から行ってくる」

主人はそう連絡してきた。30分ほど点滴を受けて、塗り薬と飲み薬をもらい、夜遅くなって帰宅した。「じんましん」との診断だった。

じんましんは、夜になると活発になるそうだ。夕べの献立を思い出し、書き留める。この中に原因の食材があるはずだが、どれか分からない。とにかく今後は、このメニューに気を付けることにした。

主人の健康情報は今まで全くなかった。病院に行かなかったからだ。塩辛い物が好きだが、今回、血圧は正常値だった。あちこち病院を探して紹介してくれた消防署の方、ありがとうございました。

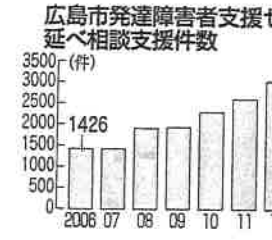
主人だけでなく、私も体力が衰えていると自覚した。

広島市安佐北区 主婦 河野 節子 68歳

■発達障害

特定の物事に強いこだわりがあったり、人とうまくコミュニケーションが取れなかったりする自閉スペクトラム症(広汎性発達障害など)▽落ち着きがない注意欠如・多動性障害(ADHD)▽読み書きが極端に苦手な学習障害(LD)などの総称。脳機能の障害が原因とされているが詳しいメカニズムは分かっておらず、根本的な治療法は今のところない。国は2005年、発達障害者支援法を施行し、障害の早期発見やライフステージに合わせた支援を国、自治体、国民の責務として定めた。12年度の文部科学省の調査では、全国の通常学級に通う小中学生の6・5%が発達障害の可能性があると推計している。

広島市発達障害者支援センターの延べ相談支援件数



「いつまでも生活保護を受けていいとは思ってない」。行動を記録したノートをめくり、就労への焦りを募らせる男性

「働くこと」の支援には満足していても、その先はどうなのか。得意分野を伸ばし、就労へと導いてくれる「2階部分」を求める声が聞こえてくる。

広島市内の30代男性もその1人だ。幼い頃から数学が得意で、東京大大学院でコンピューターサイエンスを学んだ。28歳でアスペルガー症候群と診断され、就労移行支援事業所に通い始める。そこで受けた訓練は、計量した砂を容器から容器へ移す軽作業だった。プログラマーとして働きたいという目標を見失いそうになり、焦りを覚えたという。「画一的な訓練だけでは、就労意欲を摘むことにもなりかねない」と男性は話す。

そんな課題を、現場も認識している。ある事業所の職員はこう明かす。「企業で働く最低限のマナーを補うのが事業所の役割。企業や医師など専門家との連携も乏しく、できる支援は限られている」。利用人数や定着就労率による加算で収入が決まるため、収入は不安定。コストのかかる有資格者や技能職を雇う事業所は少ないという。

加藤所長は、「部分的に秀でた能力を最大限に引き出すことで、経済的に自立し、納税者になってもらうことができる。2階建ての支援は生産的な投資と捉え、システムを整えていくべきだ」と指摘している。

世相を鋭いみせることでラムニストの済情報サイトを再編集。小で著者と同窓論じた著書も大学副学長の の対談を新た

市民が自ら主義の原則に に国家権力が 指す「反知性 ところ、反知 える行為を放 様とも言える。 気をすくい上 の人に語られ 味について、 な事象を切り ため考察す (日経BP社・

小田嶋隆 超・反知

本 「超・反知

「今年の1文字」

来 日本漢字能 (京都市)は、 の世相を漢字 「今年の漢字」 いる。最多応募 漢字を12月15 (同市)で発表す 応募は、はが 字と選んだ理由 住所、名前、年

こだま

夫の急病

医者嫌いの主人は、体中に湿疹ができて、かゆくて夜眠れなかった。病院へ行かなければならない事態だった。

しかし、「しばらく様子をみる」と言って、病院に行こうとしなかった。昼にはだいぶ治まる、それみろと言わんばかりの顔をした。湿疹がひどく大きくなったのは、夕食の時分だった。

土曜日の夕方、連休の初めで

月アラカルト

ふる里の風景
文と切り絵・村上保
〈148〉
下駄

僕ると、かっ 履が そ した。 常に 分け そ 境に れと の座 ぬい は鍾 で読 り替 喩だ